



## 麻しん風しん第3期・第4期接種率向上の取り組み事例 - 5 第3期・第4期麻しん風しんの予防接種率向上に向けた取り組み

岩手県陸前高田市民生部健康推進課

### はじめに

当市は、予防接種実施医療機関が少なく、個別接種を実施するには厳しい現状にあります。医師会や県立高田病院の医師の協力により実施しています。また、接種の予備日を設定したり、未接種者には何度か接種勧奨しています。

### 平成19年度( 任意接種 )

当市では、平成20年3月に卒業する高校3年生等を対象として、任意で麻しん風しん混合ワクチンの接種を平成20年2、3月の春休みに前倒し事業として実施しました。

この予防接種は県立高田病院の小児科医師から提案があり、市が予算を確保し全額補助という形で卒業する高校3年生へ接種をすることにしました。

実施するにあたり各高校と保護者・生徒の理解が必要なことから、圏域の各校( 6校 )の校長と養護教諭へ説明のために訪問しました。

また、学校によっては、直接生徒への説明を行ったり保護者にはパンフレットを送付して理解をもとめたりしました。その結果の接種率は82.5%となりました。

### 平成20年度( 定期接種 )

#### 実施方法

#### 第3期( 中学1年生 )

学校教育課と各学校長へ協力依頼をお願いして、夏休み期間を利用して保健センターや診療所で集団接種により実施。夏休み期間の接種率は98.2%という結果になりました。その後、未接種者には養護教諭の協力と電話等により接種勧奨をおこない、新たな接種日を設け実施し、平成21年3月末には100%となりました。

#### 第4期( 高校3年生 )

県立高田病院で集団接種を実施 4月～5月の毎週金曜日午後2:00～ 計6回( 1回の予定人数 30～40人弱 )

実施にあたり、再度気仙管内の各校( 6校 )校長と養護教諭への説明に訪問しました。

#### < 高校との打合せ内容 >

- (1) 接種時期は4月から6月が望ましいとされていることや「麻しん排除計画」により接種率95%以上の目標があることを説明して、学校への協力をお願いしました。
- (2) 接種日時が授業時間内の設定になったことから生徒が学校を早退しても公欠扱いにしていたくよう願いました。
- (3) 養護教諭からは対象者に声掛けや接種勧奨をしていただくことに了解をいただきました。

5月末の実施率は88.7%でしたが、その後予備日を設定し未接種者には再通知をして実施しました。また電話等にて接種勧奨した結果、3月末には接種率99.6%に達しました。

今回のように第3・4期とも接種率を上げることができたのは、次のことが考えられます。

- (1) 県立高田病院と医師会の協力があったこと。
- (2) 高校3年生を対象として平成20年2、3月に任意の予防接種を実施したことにより、H20年度の対象者の意識が高くなったこと。
- (3) 各学校や養護教諭等の理解と協力をいただいたこと。
- (4) 運動系のクラブ活動している生徒については、対象者を把握し、連絡をとり依頼書等で実施したこと。